

務係に襲撃され藤田君は全身血まみれの重傷を受けた。組合では藤田君を大塚病院にて應急手當し、二瀬鑛業所中央病院に入院せしめた。更らに去る九日二瀬鑛業所當局の暴力糾弾のピラ撒布中、又々中央坑務務係の襲撃を受け、高林三郎、松田遠太、毛利數夫の三君は負傷し、更に同鑛業所漆野坑に於て、平山三千穂、森軍一の兩君も勞務係の襲撃暴行に傷いた。

二瀬鑛業所は昭和六年の大争議以來暴力行爲をなすこと今回で三回、吉田同鑛業所勞務課長は既に昭和六年以來我が組合に對し暴力行爲の禁止を誓約しながら再三に亘る裏切り違約に我が組合は奮然立つて二瀬鑛業所の徹底的膺懲の戦列を布いたのである。

今回の事件は一炭坑の不詳事ではあるが、暴力を以て労働組

合を破壊せんとするは筑豊全坑山の支那的イデオロギーである。我々は炭坑業の重大性に鑑み、鐵實なる労働組合の組織と統制を通じ、労働階級の協力を以て炭山の發展平和を圖る進歩的資本家には産業協力の責を負ふが、頑迷、無理解にして、殊に暴力を以て労働組合を壓迫し、坑夫の生活を永遠に奴隸の鐵鎖に結びつけるが如き資本家とは徹底的に戦ふものである。

國家産業擁護の大旗掲り産業協力の大道漸やく拓けんとする筑豊の炭田にかゝる法治國外的暴力拒否の戦端を開いた我々に全國の同志諸君の壓倒的支援を乞ひ滿天下の正義の批判に訴へ我々の決定的勝利に御高導を願ひたく敢へて茲に飛檄する次第である。

われわれのこの最後の戦に依つて筑豊の全山から暴力を一掃せよ！